

鎌ケ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	12いきいきとした生涯学習の推進		
施策のねらい(めざす姿)	市民が生涯を通じて学習に取り組み、その成果を地域で活かし、生きがいをもって生活しています。		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	生涯学習部次長
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	マネージャー氏名	笠井 真利子

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	受益者負担の原則に基づき、市全体の施設における使用料の見直しが必要である。	③改革・改善内容	老朽化した東初富公民館及び図書館の長寿命化を図るため、大規模改修工事を実施して、市民の学習環境の向上を図る。
②①に基づく取り組み結果	平成27年度に市全体の使用料の見直しをした結果、消費税率の引上げなどを勘案し、今回は使用料の改定を見送ることにした。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市民	意図(対象をどうするのか)	生涯を通じて学習に取り組み、その成果を地域で活かして生きがいをもった生活をしている。
②施策の概要	市主催講座の実施や、図書館蔵書の充実などにより生涯学習に関する市民ニーズの多様化・高度化に柔軟に対応するとともに、公民館などの学習施設の改修などにより、快適な学習環境を整備することで、市民の自主的な学習活動に対して支援を行う。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	情報化が進む中、生涯学習に関する市民ニーズの多様化・高度化が今後も進むことが予想される一方、生涯学習関係団体の高齢化による団体数の減が予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27～28年度の施策の成果	市民の多様な学習要求に応えるため、大学との連携や、ボランティア団体との協働などにより各種講座を実施したほか、市民の学習活動を活発化するため、団体及び指導者の育成を図るための研修会を実施した。また、地域の教育力の向上を目指し、学校開放事業を実施した。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値(32年度)
	i	生涯学習をしている市民割合	%	—	—	—	67.0
	ii	学習施設利用者数	人	291,611	310,985	327,891	400,000
	iii	図書館資料貸出数	冊	400,266	408,725	397,206	450,000
③基本事業成果指標	i	公共施設予約システムアクセス件数	件	32,058	91,279	120,997	56,000
	ii	学習センター登録サークル・団体数	団体	461	497	464	500
	iii	市主催講座参加者数	人	21,725	20,294	20,550	27,000
	iv	公民館まつり参加者数	人	10,277	9,998	9,827	10,000
	v						
	vi						
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	平成27年度決算	平成28年度決算	市民一人あたり事業費(28年度決算)	平成29年度予算			
事業費(千円)	725,030	237,468	(単位:円)	2,175 円	376,800		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	さらなる生涯学習の推進を図るためには、学習施設の老朽化を改善し、快適な学習環境を提供する必要があるとともに、生涯学習団体の高齢化による減少に対応する必要がある。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	学習センター登録サークル・団体数及び図書館資料貸出数が若干減少しているが市主催講座参加者数は増加しており、また、学習施設利用者数及び公共施設予約システムアクセス件数については、大幅に増加していることから生涯学習の推進が図られている。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑ 向上	②コストの方向性	↑ 増加
③特に重点化する事務事業	学習センター等改修事業		
④上記方向性の説明	快適な学習環境の提供により、生涯学習の推進を図るためには老朽化する学習施設の改修による長寿命化を図る必要がある。		